



もうすぐ1年生です

手をつなぐ仲良し4人組

3月23日、口羽保育所の卒園式で

3月
定例会
特集

注目の
今月の

- 令和6年度当初予算を可決 (2)
- 食の学校 特別委員会を設置 (4)

く高額予算

3月
定例会

3月定例会を3月4日から15日まで12日間にわたって開催しました。令和6年度当初予算を含む町長提出58議案と、発委1議案、発議2議案を審議し、すべてを可決しました。

発委は、執行部の機構改革に伴う議会委員会条例の一部改正（6ページ参照）です。

発議は、株式会社雲海の倒産による債権放棄に対する附帯決

議（5ページ参照）と、議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（6ページ参照）です。

他にも、地域資源活用技術習得施設（食の学校）調査特別委員会の設置（4ページ参照）も決めました。

令和6年度当初予算は、3月6日から7日に亘って連合常任委員会で審査しました。

予算編成
のテーマ

ひとにやさしいまちへ、
さらに進めよう

大型継続事業の理由は、大型建設事業である「石見中学校建設事業」「邑智病院本館建替え事業」「道の駅瑞穂再整備事業」及び「脱炭素先行地域づくり事業」の継続が大きな要因です。

この他、「いわみ温泉活用施設（霧の湯）改修事業」、国が進めるシステム標準化

大型継続事業

令和6年度一般会計予算は、前年度より2000万円減の159億5100万円の大規模予算となりました。特別会計を含めると前年度より10億9150万円減の183億1550万円ですが、これは水道事業が特別会計から公営企業会計に移行することによる減額です。

厳しい予算編成

一方歳入では、町税収入は前年度より約6100万円減少しています。地方交付税は前年度より約2億745万円増額しています。増額しているが、基金（貯金）を繰り入れて予算を編成せざるを得ません。



工事が本格化する道の駅瑞穂工事計画図

す。また、地方債（借入金）借入額は、前年度より約6億8591万円減つていますが、約34億6100万円もあり厳しい予算編成となっております。

併せて報告された中期財政計画（今後5年間の歳入歳出などの見込み）でも、現在同時進行している大型起債事業により令和9年度からは公債費（返済に充てるお金）が18億円を超える見込みで、今後は事業費の抑制や計画的な起債、返済が必要だと説明がありました。

R6年度
当初予算

昨年度に続

一般会計159億5100万円

重点目標項目

6年度予算は、予算編成テーマを実現するために5点の大項目を設定し、それぞれに重点項目を設定しています。

1点目は「物価高騰対策」です。低所得世帯への支援給付や学校給食費の支援などがあげられています。

2点目は「多様性が尊重されすべての人が力を発揮できる地域社会の実現」です。20周年記念式典、地区別戦略、地域運営組織設立支援、地域包括ケアシステムなどがあげられています。

3点目は「少子化対策・こども政策の抜本強化」です。「子どもまるごと相談室」の拡充、子ども医療費無償化の対象年齢の引き上げ、不妊治療事業での交通費助成などの新規事業（5ページ参照）に加えて「こども計画」の策定があげられています。

4点目は「人材確保と町

内産業の活力増進」です。

町内企業の人材確保対策、「おおなん地域づくり事業組合」への支援、道の駅瑞穂再整備事業、地域おこし協力隊活用による農林業観光人材確保、有機農業等環境にやさしい農業振興、食育と地産地消、「神紅」の産地化、木質バイオマスを活用した「霧の湯」の整備再開、脱炭素先行地域の取り組み、コロナ後の観光振興、久喜銀山の保存活用などがあげられています。

5点目は「行財政改革の着実な実行」です。公共施設等総合管理計画に沿った施設削減、内部統制の取組み継続、行財政改善などの他、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第2次総合振興計画」などが終了年度を控えており、更新に向けた幅広い意見聴取などの費用が盛り込まれています。

その他にも、デジタル技術の活用や、AI活用に向けた指針の策定もあげられています。

令和6年度一般会計及び特別会計の当初予算

	予算		比較増減	増減率 (%)	基金(積立金)残高見込		町債(借入金)残高見込	
	令和5年度	令和6年度			令和5年度末	令和6年度末	令和5年度末	令和6年度末
一般会計	159億7100万円	159億5100万円	△2000万円	△0.1%	56億7644万円	52億924万円	144億714万円	187億4028万円
国民健康保険	13億2000万円	12億9300万円	△2700万円	△2.0%	9215万円	4050万円	0万円	0万円
直営診療所	1億3450万円	1億3850万円	400万円	3.0%	0万円	0万円	1億7683万円	1億6290万円
後期高齢者医療	3億7350万円	4億1200万円	3850万円	10.3%	0万円	0万円	0万円	0万円
下水道	10億4000万円	—	△1億4000万円	皆減	0万円	—	39億9639万円	—
電気通信	5億6800万円	5億2100万円	△4700万円	△8.3%	1億4431万円	1億5371万円	6億2111万円	10億2660万円
特別会計合計	34億3600万円	23億6450万円	△10億7150万円	△31.2%	2億3646万円	1億9421万円	47億9433万円	11億8950万円
総合計	194億4070万円	183億1150万円	△10億9150万円	△5.6%	59億1290万円	54億345万円	192億147万円	199億2978万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

令和6年度公営企業会計の当初予算

水道事業		予算		比較増減	増減率 (%)	企業債(借入金)残高見込	
		令和5年度	令和6年度			令和5年度末	令和6年度末
収益的収支	収入	4億2563万円	4億 3万円	△2560万円	△6.0%	21億8677万円	21億5539万円
	支出	4億1591万円	3億9494万円	△2097万円	△5.0%		
資本的収支	収入	3億8346万円	4億6921万円	8575万円	22.4%		
	支出	5億7692万円	6億4427万円	6735万円	11.7%		
下水道事業		予算		比較増減	増減率 (%)	企業債(借入金)残高見込	
		令和5年度	令和6年度			令和5年度末	令和6年度末
収益的収支	収入	—	7億7413万円	7億7413万円	皆増	—	32億 185万円
	支出	—	7億7413万円	7億7413万円	皆増		
資本的収支	収入	—	4億8358万円	4億8358万円	皆増		
	支出	—	6億9123万円	6億9123万円	皆増		

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

これに対し議会からは、業務委託する時に建物だけという事はないはずだ。必要最低限の物は町が用意し

また、新聞で報道されたように、施設にあったほとんどの機材が無いことの理由も問い、ビレッツプライドの所有物だったため搬出したと説明がありました。

5年度から食育を推進するとして教育委員会の所管となり、6年度予算に「食の学校運営費」の名目で80万4000円の予算が上がっており、何に使うのか、1年間何をしていたのか、などの質問がありました。

町は、令和5年1月にA級グルメの看板を下ろし、今後は地産地消を進めていくとしました。その時、業務委託を受けていたビレッツプライドは「食の学校」から撤退しました。

たはずだ。それとも、年間800万円あった委託料から機材は揃える約束で、その高額な委託料を出していたのか。など、疑問の声が上がりました。

特別委員会を設置 「食の学校」機材はどこへ

執行部は、町の備品台帳

これに対応するため、議会では調査特別委員会を立ち上げ、執行部に対し、委託内容や状況の精査と報告を求める事としました。

にある物は現在も残っており(動かせない作り付け保冷庫や、調理台など)、委託料は講座の企画、運営のためのものだとして説明し、当時の状況を調べるとありました。

これに対応するため、議会では調査特別委員会を立ち上げ、執行部に対し、委託内容や状況の精査と報告を求める事としました。



会期中に現地確認を行った時の食の学校の内部

新たな事業を開始

令和6年度より、新たな子育て支援がスタートします。内容は、高校生までの医療費の無償化、不妊治療に伴う交通費の助成、おむつ等定期便事業、マタニティベジボックス事業、結婚新生活支援事業などがスタートし、邑南町の子育て支援がさらに充実していきます。

不妊治療に伴う交通費の助成は、医療費助成利用者からの間取り調査で、通院のための交通費がこの治療を継続する上での負担になることがわかり、上限を15回として助成していくこととしました。

また、おむつ等定期便事業は、子育ての費用負担の軽減と、月に1回、保健師



すくすく育て！邑南っ子

やサポーター等が配達し対応で行う状況把握や相談対応することで、不安の軽減や必要な支援につなげるのが目的とされています。マタニティベジボックス事業は、月に1回、妊娠届翌月から出産するまで町内産食材を、提供する事業となります。目的は、食材提供を通じて町内産野菜摂取

の普及等、妊娠期からの健康づくりや、バランスの取れた食生活改善の確立をめざすことと、町内産食材の利用促進による地産地消や食育の推進があげられています。新たに、6年度より結婚、妊娠、出産、子育て、と多岐にわたり支援事業が充実していきます。

附帯決議案を採択

令和元年度いこいの村・香木の森公園指定管理にか

があり、採決の結果全員賛成で可決しました。

発議第1号

度決算において1200万円が収入未済額となっていました。この度、(株)雲海の破産管財人より385万7772円配当の通知があり、収入未済額との差額814万2228円について不納欠損の処理が必要となりました。債権放棄の議決が必要です。

議案第49号権利の放棄に対する附帯決議について、大屋議員より議案の提出がありました。

議案第49号権利の放棄で、債権放棄について提案

その内容は、権利の放棄について、町長は検証すると述べており、改めてそれを要求するものです。そもそも、1500万円の納付金が妥当であったか疑問が残ります。

また、コロナ禍における休業時の町の支援についても疑問が残ります。

今回の破産は一概に経営能力の問題とは言えない部分があり、債権放棄にあたり対応の過程の公開が必要です。

この債権を放棄するにあたり、町長に対し、いこいの村、香木の森の納付金の金額設定の正当性、コロナ禍での(株)雲海への支援の妥当性及び町の債権(納付金)の請求・回収事務について検証し、速やかに報告することを求めました。

発議第一号は、賛成多数で原案のとおり可決しました。(討論は7ページ参照)



発議を提案する大屋議員

公共施設の適正管理に向けて

資産経営課を新設

目的は、公共施設等総合管理計画の着実な推進のために、現在、各課が所管している公共施設を資産経営課が総合的に適正管理し、市民のニーズの変化に合わせて見直しをします。

- 議員からは、
- 6年度の予算は現課である総務課や建設課で組まれている。新年度から区分けができるのか。
- 行財政改革で課を削減しているのに、今回の新設は逆行していないか。
- 指定管理に関することも新設課でやってはどうか。
- 町営住宅の管理の範囲は、新設課には、建築に関する専門家の配置はあるのか。
- 財産の管理も一つの課が統一して行うのがよいのではないか。
- 空き家対策は地域みらい課も関わっている。業務

の区分けはどのようなのか。など、業務の詳細や現課との関わり、新年度の予算等の質問が相次ぎ、全員協議会や予算審議で議論になりました。

資産経営課は、教育委員会をはじめ、全庁的な取組を主導するようですが、動き出してみないと想定できない部分もあり、方向性が定まらない印象です。資産経営課がどういった仕事をするのか、注視していく必要があります。

この機構改革を受け、委員会条例の一部改正を発案しました。

資産経営課は産業建設常任委員会の所管となります。また、下水道の公営企

議員報酬を増額

邑南町議会は、町村合併時より議会活動の活発化と財政負担の軽減のため、常に議会改革を先進的に取り組んできました。

平成19年議会基本条例を制定して議会機能の向上に努めてきました。また2度にわたる議員定数の削減（平成21年3名減、令和3年2名減の現行13名）と常任委員会の設置数の見直しも行いました。

この結果、議員個々に求められる能力・役割も増えてくるとともに、議員活動に費やす時間も増えてきています。町村合併から議員報酬の改正を行っていません。以上ことから報酬の増額改訂を行いました。

議員報酬の改正については、町職員高卒初任給の伸び率に合わせて月額報酬を11%上げることとし、議会改革特別委員会で賛成多数



発案を提案する
漆谷議会運営委員長

業化により、水道課は町長部局より削除され、公営企業法に基づき設置されます。

で可決しました。

邑南町特別職報酬等審議会は、町長の諮問を受けて開催されます。委員会の結果を受け、議長から町長に対し審議会の開催を要請し、議員報酬について町民の理解を得るため、邑南町報酬等審議会に意見を求めました。その結果により、和田委員長が条例改正の発議を提出しました。

発議第2号

邑南町議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、和田議

員より議案の提出がありました。

条例の改正理由として、邑南町特別職報酬等審議会の答申があります。その内容は「合併後、今日に至るまで一度も改正されていない状況であり、議員のなり手確保を考慮し、議員としてしっかりとその職務を果たしていただくためにも、生活給の一部として増額は必要である」とありました。

議案は賛成多数で可決しました。

改正後の議員報酬は次のとおりです。

- 議長… 33万7000円
- 副議長… 28万円
- 委員長… 24万1000円
- 議員… 23万3000円（討論は8ページ参照）



発議を提案する和田議員

討論

権利の放棄

賛成

瀧田 均 議員



債権は全額回収することが原則だが、債務者である法人が破産し、徴収の見込みのない債権を放棄することとは、税金でも認められ、早期に債権放棄することは、適正な債権管理を行うためにも必要である。

納付金額の確定や債権回収の手続きも適正に行われ、町長の責任はないと考える。判断の先送りが事件の解決につながるものではなく、今後の適正な債権管理のためにも賛成する。

権利の放棄に対する 附帯決議

賛成

辰田 直久 議員



議案第49号権利の放棄についての附帯決議に賛成の立場で討論する。この附帯決議は、いこいの村、香木の森納付金の金額設定の正当性、コロナ禍での株式会社社雲海への支援の妥当性及び町の債権納付金の請求、回収事務について検証し、速やかに議会に報告するとしたものである。

町は、町民に対して町の対応、債権放棄に至った理由を明らかにすべきである。議会として町民をはじめ、さまざまな関係者に経緯を明らかにすることが必要であり、賛成討論とする。

令和6年度

一般会計予算

反対

日高八重美 議員



令和6年度の学校給食費の予算は値上げされた内容である。また、議会費の議員報酬費は昨年度より669万円の増額となっている。

生活用品の物価上昇や肥料、飼料の高騰、コロナ禍の融資の返済、高齢化や人手不足で苦慮されている事業所等の実態を踏まえると、町民の理解なくして報酬の増額はすべきでない。

学校給食費の値上げや議員報酬の増額に反対する立場から、6年度一般会計予算に反対する。

賛成

瀧田 均 議員

令和6年度一般会計予算は大型予算となっているが、国、県の補助金や基金を活用することに加え、過疎債や合併特例債といった有利な起債を活用して編成されている。税収等の少ない中で、将来に向けた町民の福祉増進などに必要な予算が確保されていることをまずは評価する。

多様性を尊重し、すべての人が力を発揮できる地域社会の実現のための予算、子ども条例の具現化のための予算が確保されている点を評価する。

町内産業の活力増進のための予算が編成されており、農林水産物やエネルギーの地産地消が進み、町内経済環境のすそが拡大すると考える。

「ひとにやさしいまちへ、さらに進めよう」をメインテーマに掲げ、邑南町発展のための有益な予算案となっているとし賛成する。

令和6年度

国民健康保険事業 特別会計予算

反対

日高八重美 議員

加入者の多くは、農業者や自営業者、非正規雇用者だ。高い保険料を苦勞しながら払っている人や、払えなかった人の実態を調べ、誰もが払える国保税にすべからず、国庫負担の割合の改善、加入者の生活実態の把握などを求め、反対する。

令和6年度 下水道事業会計予算

反対

日高八重美 議員

令和5年度9月議会において、邑南町下水道使用料条例の一部改正について反対した。

物価高騰が続く中、生活に欠かせない公共料金の引き上げは問題であり、6年4月から値上げ分が盛り込まれた予算案に反対する。

議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

反対

日高八重美 議員

町民の暮らしは厳しさが増す中、議員報酬の引き上げに町民の理解は得られるのか。

議員必携には議員の職責として、『住民との対話を重ね、住民の声を酌み取りながら、議論を重ねて調査研究を進める』とある。

町議会基本条例第13条には、『町政の課題及び将来展望、町民の多様な意見の反映等の視点を十分に考慮しなければならない』と明記されている。

報酬引き上げの理由の一つ、なり手不足の解消は報酬を上げることでは解決できないことでもなく、町民の理解が得られるように、議会活動の見える化も必要だ。町民の意見はどうかなどの議論が不十分であり、報酬引き上げについて反対する。

賛成

大屋 光宏 議員



邑南町議会の議員報酬は合併以来一度も改正を行っておらず全国町村議会の平均議員報酬より低い。議会改革特別委員会を設置し議会改革に努めるなど、議会活動は全国平均を大きく上回る。

議会開催日等の増、議員に求められる能力や役割、議会活動に費やす時間が増える現状は子育て世代等にとって、他に収入を得る手段がなければ、日常的な個人の十分な議員活動の確保が難しくなる。

一定の生活の安定は議会において議論を深め、公正公平な判断を行うために必要不可欠なことであり議案に賛成する。

3月定例会 議案の ゆくえ

6年度当初予算案以外の主な議案を紹介します。

人事案件は、人権擁護委員候補者の推薦と副町長の選任で、それぞれ同意しました。

「課の設置条例の一部改正」は、資産経営課を新設し、町長部局の水道課を廃止するものです。今後水道課は公営企業法に基づく設置となります。

「職員の定数条例の一部改正」「職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正」「特別会計条例の一部改正」は、下水道事業の公営企業化に伴うものです。「表彰条例の一部改正」は、表彰基準の見直しによるものです。

「町営バス条例の一部改正」は、バス路線の追加

(20ページ参照)によるものです。

「高齢者創作活動施設条例の一部改正」「町堆肥化処理施設条例の一部改正」は、施設の一部を用途廃止するものです。

「町営住宅管理条例の一部改正」は、老朽化住宅の用途廃止と新築住宅の追加を行うものです。

「若者定住促進住宅管理条例の一部改正」は、島根県住宅供給公社から無償譲渡される住宅を追加することと、入居資格45歳までを廃止し、「若者定住住宅」を「定住住宅」に改めるものです。

「奨学金条例の一部改正」は、基金の減額と、制度と貸与金額の改正を行うものです。

「指定管理者の指定」は、指定管理期間の満了に伴い、従前の指定管理者に改めて指定管理者の指定をするもので、16施設の指定を行いました。

「権利の放棄」は、(株)雲海の破産手続き完了に伴

い、過年度分納付金の債権の内814万2228円を放棄するものです。

「令和5年度一般会計補正予算第13号」は、事業実績による支出の減額が主ですが、障がい者相談支援事業委託料を消費税非課税と誤認していたことに伴う修正申告による補償金119万8000円の追加もあります。

また、年度内事業達成が困難な事業の繰越明許費が約11億4314万円追加され、総額約31億7417万円が設定されました。

「令和5年度電気通信事業特別会計補正予算第4号」は、消費税の還付金約1769万円を基金に繰り入れる他、ネットワーク整備事業費約1億8940万円を繰越すものです。

他の特別会計補正予算は、事業実績によるものです。

その他は、国の法律、施行令の改正、主務大臣の変更等によるものです。

1月臨時会 議案の ゆくえ

1月臨時会を1月10日に

開催し、条例改正案1件、
工事請負契約1件、指定管
理者の指定1件、補正予算
1件を審議し、すべてを全
員賛成で可決しました。

「手数料徴収条例の一部

改正」は、戸籍法の改正に
伴う改正です。

「工事請負契約の締結」
は、道の駅瑞穂融雪設備整
備工事です。

「指定管理者の指定」は、
いこいの村しまねの指定管
理者を、株式会社ウエルス
に指定するものです。

「一般会計補正予算第11
号」は、国の物価高騰対応
重点支援地方交付金を活用
し、農家に対して堆肥利用
拡大の支援を行うためのも
のです。

2月臨時会 議案の ゆくえ

2月臨時会を2月16日に

開催し、工事請負契約の変
更契約1件、補正予算案1
件を審議し、すべてを全員
賛成で可決しました。

「工事請負契約の変更契
約の締結」は、石見中学校

改築工事です。当初契約締
結後、資材や労務単価の上
昇が激しく、請負代金の金
額が著しく不相当となった
場合に変更を請求できるイ
ンフレスライド条項による
ものなどです。

「一般会計補正予算第12
号」は、国の物価高騰対応
重点支援地方交付金を活用
し、低所得者世帯及び低所
得子育て世帯に対して物価
高騰対策重点支援給付金を
支払うためのものです。

3月定例会 全員賛成にならなかった議案

○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	辰田	結果
当初予算	令和6年度一般会計予算	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度下水道事業会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	議案第49号権利の放棄についてに対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
	議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和5年度1月、2月、3月補正

	当初予算の額	12月補正後の額	1月補正額	2月補正額	3月補正額	3月補正後の額
一般会計	159億7100万円	167億960万円	699万円	△4億9696万円	△796万円	162億1167万円
国民健康保険	13億2000万円	13億3900万円			△414万円	13億3486万円
直営診療所	1億3450万円	1億2866万円			△320万円	1億2546万円
後期高齢者医療	3億7350万円	3億8106万円			△14万円	3億8092万円
下水道	10億4000万円	10億777万円			△3137万円	9億7640万円
電気通信	5億6800万円	5億7664万円			1768万円	5億9432万円
特別会計合計	34億3600万円	34億3312万円			△2117万円	34億1195万円
総合計	194億700万円	201億4272万円	699万円	△4億9696万円	△2913万円	196億2362万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

※水道事業会計の補正はありませんでした。

いっぱい 質問

質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	奈須 正宜	(1) 中学校の部活動地域移行 (2) 防犯対策	11
2	漆谷 光夫	(1) 新年度の町政運営 (2) 災害の備えは早急に (3) 通知表のあり方	12
3	日高 八重美	(1) 地域包括ケアシステムの推進 (2) 学校給食の無償化を (3) 災害避難所の環境改善 (4) 難聴者の補聴器購入費助成を	13
4	平野 一成	(1) 予算編成の重点項目 (2) 地域とともにある学校、学校とともにある地域	14
5	中村 昌史	(1) コミュニティスクールの開設 (2) 縦割り行政の解消	15
6	鍵本 亜紀	(1) 子育て日本一をめざす邑南町 (2) 20周年記念日のお祝い	16
7	野田 佳文	(1) 救急搬送時の備えとマイナ保険証 (2) 選挙費削減と選挙改革 (3) 山城跡の活用と関係人口	17
8	大屋 光宏	(1) 自己肯定感の醸成 (2) 経常収支比率99.9%	18
9	辰田 直久	(1) 6年度予算の重点テーマ (2) 福祉事業者の課題と行政連携 (3) 広報全般のあり方	19

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

ガツテン!! 一般質問

今定例会では9人の議員が登壇しました。私はいつも先輩議員にお願いして、初日の一番に一般質問しています。朝一番に「おはようございます」と、しっかりと全員の前で挨拶することで、緊張をほぐし、一般質問に向かうためです▼一般質問の持ち時間は、ひとり1時間と決められており、その1時間で質問、提案をしていきます。いつもは5分から10分くらいは残るよう質問を進めていくのですが、今回初めて時間を超えての質問になってしまいました。改めて一般質問することの大変さや、時間配分の難しさを痛感する一般質問となりました▼また、皆様のおかげで、本当にいい経験をさせていただいていると、感じています。

奈須正宜 記

なすまさよし
奈須正宜 議員

中学校部活動地域移行先に 先行して予算を

課長

予算を確保できるような 方向性を考えたい

奈須正宜議員

中学校の部活動地域移行指導者の確保はできているのか。指導者を確保していくにあたり、どのような問題があるか把握できているか。

高瀬学びのまち推進課長

部活動の地域連携として中学校部活動に入っていただけの方は把握できているが、十分な指導者と予算が確保できている状況ではない。指導者として、また教育者としての質をいかに担保していくかも課題と考える。

指導員に求められている具体的な職責として、技術



指導、安全障害予防に関する知識、競技指導、学校外の活動の引率、管理運営、保護者等への連絡計画の作成、生徒指導対応、事故防止時の対応など、多岐に渡り、これらに見合う報酬となっているか。あるいは、部活のガイドラインに沿った勤務時間であると、職業としては成立しないことなどから、人が限られるのではないかという課題もある。

奈須議員

指導するために必要なライセンスを取得するには、基本的に取得料が必要となる。毎年更新のための講習料、さらに更新料もかかる。大会に参加するには、審判ライセンスも同じである。町内のライセンス保持者は、ボランティア活動で指導している。このライセンスにかかる費用は自分で払われている。中学校の部活動地域移行指導者のライセンスにかかる費用を町として補助できないか。

高瀬学びのまち推進課長

検討する必要がある。

奈須議員

最終的に指導者が確保できず、スタートできない状態になった場合の対応策は。

大橋教育長

教育委員会としては、子どもたちを地域総がかりで育んで行こうとしている。地域として考えると、指導者とは言わず、見守りとしても、可能性が広がると考えている。そこをめざしていくわけではないが、今後

もしっかり考えていかなければいけない。

奈須議員

現在すでに地域移行して活動されている部活動やクラブチーム、今後地域移行をスタートしようとしている団体に、備品の準備、大会運営費など町から先行して補助ができないか。

高瀬学びのまち推進課長

地域クラブ活動の起ち上げ支援や、立ち上げ以降の活動支援の必要性は理解している。必要な財源を確保するために、国が実施している地域移行に向



バレーに打ち込む子どもたち

ける地域移行に向けたモデル事業、また実証事業を活用できるよう検討していきたい。積み上げたものがなければ、予算を確保することは難しいと考える。ただ町のスポーツ協会などとも検討し、予算を確保できるような方向性も考えていきたい。

うるしだにみつお
漆谷光夫 議員

新年度の町政運営方針は

町長 第2次行財政改善計画を推進

白須産業支援課長
少子高齢化、人口減少で人手不足に直面し、深刻な状況が続いている。新年度の予算編成においては「人材確保と町内産業の活力増進」を重点項目としている。邑南町企業魅力化サポート事業を人材確保対策の柱として各企業と連携し人材確保の取り組みを進めていく。

漆谷光夫議員
少子高齢化、人口減少が進む中、特に人材不足は深刻で町の根幹を揺るがしかねない。人材確保の課題にどのように取り組んでいくのか。



災害用簡易トイレ

漆谷議員
厳しい財政状況の中、行財政改革を確実に進める必要がある。次世代にシフ寄せとならない中長期の財政運営をどのように考えているのか。
三上財務課長
人口減少により、歳入では普通交付税や地方税などの減少が見込まれ、歳出では人件費、扶助費、公債費の義務的経費は増加傾向にある。事務事業や補助金の見直し、施設の統廃合を進め、経常経費の削減に努める。今後の大規模事業の実施時期については慎重な判断と起債の発行を抑制し、計画的な償還を進める必要

がある。
石橋町長
地域の方々と議論を深めながら、新年度から「第2次邑南町行財政改善計画」を先頭に立って推進していきたい。
問
災害対策と備えは早急に
漆谷議員
県の備蓄数量等の見直し案に基づき、本町でも災害時の備蓄物資整備計画が策定され、計画数量に満たない物資は概ね5年かけて購入予定であるが町民の安全安心を第一に早急に配備すべきではないか。また、災

害時に備え、近隣の自治体に限らず、より広域的な自治体と相互応援協定を締結してはどうか。
答
相互応援協定を提案したい
大賀総務課長

必要数量に満たない備蓄品については早急に整備する必要はあることは十分認識をしているが、一度に購入するには財政的な負担が大きいことや備蓄品は賞味期限、保管による劣化など定期的な入れ替えが必要となるので年齢構成や性別に配慮し、常に新しいものに入れ替えて備蓄していきたいと考えている。

災害時には相互応援協定が多ければ心強く安心である。新たな協定の締結に前向きに取り組みたい。
石橋町長
30市町で構成する広島広域都市圏協議会では災害の協定が明確にされていないので災害時の相互応援協定を提案していきたい。

ひだかやえみ
日本共産党 日高八重美 議員

介護報酬引き下げで 在宅医療は守れるのか

町長 地域包括ケアシステムは しっかりと構築する



日高八重美議員

邑南町では、安心して住み続けられるよう、介護予防・医療・介護の切れ目のない一体的な取組みを推進している。その土台となるのは介護保険制度だ。

24年度は介護保険制度の見直しが行われる。

介護報酬の改定では、訪問介護の基本報酬が引き下げられ、その結果、経営が困難になり事業の継続ができない事業所もある。町内の事業所への影響は把握されているか。

小笠原医療福祉政策課長

訪問介護の報酬改定では、処遇改善加算もあり、

事業所として精査をされている。現段階では、具体的影響は把握できていない。

日高議員

訪問介護の問題は、職員の高齢化や人材不足もある。

在宅介護の基本となる訪問介護が維持できなくなるのと、介護難民や家族の介護離職にも影響する。

第9期邑智郡介護保険事業計画も策定されており、今後、高齢者の生活は守っていけるのか、認識を問う。

小笠原医療福祉政策課長

人材不足への対応として、介護職員の初任者研修を郡内での開催や、受講費用の助成を計画している。

また、どの事業所においても厳しい経営状況がある。町として、今後の事業のありかたの検討も調整役として進めている。



ゴミ出しを見守る訪問介護者

く。

日高議員

地域医療構想や高齢者福祉計画などがあるが、暮らしを守り在宅医療を推進していくことはできるのか、町長の見解を問う。

石橋町長

訪問介護報酬引き下げが、中山間地域では、保険あってサービスなしといった状況にならないよう、県と一緒に国へ訴えていく。地域包括ケアシステムについては、言葉だけでなく、しっかりと構築をしていく。

問 学校給食の無償化を

日高議員

町内で無償化を求める署名行動を行い、1100筆の賛同をいただいた。

保護者の経済的負担の軽減と、食材に地元産を活用することで農家をしっかりと支えていくことを町の政策にしていきたい。

答 関係課で協議が必要

石橋町長

無償化で給食の質を落とすにはいけない。財源をどうするか。新年度には関係課で真剣に議論をする。

その他の質問

日高議員はその他に、聴者の補聴器購入費用の助成を求めました。また、災害避難所の環境について、女性支援員の配置や、女性の視点で備品が準備されているのかを質しました。

令和6年度予算に 込めた思いは

町長 高齢者・女性・子どもに 特に思いを寄せたい

ひらのいっせい
平野一成 議員



平野一成議員

合併20年の節目となる令和6年度の予算編成のテーマを「ひとにやさしいまちへ」さらに進めよう」とした石橋町長の思いは何か。

石橋町長

ひとにやさしいまちづくりというのは、簡単にできることではない。まだまだ未完成と感している。6年度は大きな派手な予算ではないが、高齢者の方、女性の方、子どもたちなどに特に思いを寄せていきたいと思っている。

平野議員

テーマの大項目にある「子ども条例」の具現化は、

具体的にどう進めるのか。小笠原医療福祉政策課長

少子化対策、こども政策の抜本的強化について子どもまるごと相談室をこども家庭センターと位置づけ、妊娠期から子育て時期の経済的負担の軽減を図るため新規事業も立ち上げる。加えて、子ども・若者計画を策定する。計画策定にあたっては、住民会議などの手法により住民の皆さんと協働で取り組むことを考えている。

平野議員

同じく大項目の中の人材確保と町内産業の活力増進にある「道の駅再整備」について、今後の運営方針の中で、産直市みずほの位置づけを明確に示してほしい。

白須産業支援課長

新しい道の駅の運営については、産直市みずほ企業組合を6年度中に正式に指定管理者とする手続きを進める。産直市みずほ企業組合は産直市の運営に長い実績があり、これまでの実績

や経営能力を生かしていたけると期待している。

問 コミュニティスクール
どう進める

平野議員

教育長のめざす邑南町のコミュニティスクールとは。

答 3中学校区で7年度
から導入したい

から導入したい

大橋教育長

現行の学習指導要領では社会に開かれた教育課程の

実現が求められており、社会とのつながりの中で学ぶことで、子どもたちが自分の力で人生や地域社会をよくなるといえる実感を持つことができるようになる。この仕組みとして、有効な手段と考えている。7年度からの導入をめざしている。

平野議員

教育長の理念には賛同するが、学校と地域（社会）の連携には課題が多いと感じる。まずは、課題解決を丁寧に進めていただきたい。



地中熱利用のさく井工事が
始まった、道の駅再整備

なかむらまさふみ

中村昌史 議員

コミュニティスクール 中学校区にこだわるな

教育長

結果的に 小学校区の可能性もある



中村昌史議員

コミュニティスクールの導入について、現在の進捗状況と今後の予定は。高瀬学びのまち推進課長

現在、3地域の学校関係者、社会教育担当、公民館担当でプロジェクトチームを作り、共通理解を図っている。今後は、地域の方の参加も考えている。

設置範囲は、義務教育期間の連続した系統的な学校運営の実現や、学校運営協議会の効率的な運営などから、中学校区を想定し、令和7年度からの実施を考えている。しかし、学校と地域との連携の状況が多様で

あり、中学校区にこだわらない意見もある。

中村議員

現在の地域学校コーディネーターの方などと一緒に考えていく必要があるし、地域運営組織を立ち上げる際にも考えておかなければならない。

コミュニティスクールについて、地域と情報を共有することが重要だ。そのためには、めざすコミュニティスクールの姿、目標を公に知らせる必要がある。教育委員会としてのめざす目標は。

大橋教育長

教育委員会としての一番の目標は人づくりである。邑南町として以前より先駆的に取り組んできた学校、公民館と地域の関係性にさらに肉付けをし、制度設計をして行きたい。

中村議員

地域と学校の関係を考えてみると、何気ない小さな繋がりが自然に成り立つ姿があるべき姿だと思う。例えば、地域の方が子どもたちを名

前で呼べるようになる姿。そういう姿で示す方がわかりやすい。そういう関係を続け、地域と学校の信頼関係を築くことで協働が成立する。

今後の進め方で次のことを要望する。各学校ごとに学校運営協議会を設置し、コーディネーターを配置すること。地域と学校との連携を深めて、学校、地域、保護者への丁寧な説明をすること。そのためには、7年度の一斉開設にはこだわらなければならないと思うがいかがか。

大橋教育長

地域と学校の緩やかな関係性は、もちろん求めていきたい。その上で、しっかりとした制度作りをするために、7年度を目標としている。あくまで目標として進んでいきたい。また、設置範囲についても、結果的に小学校区の可能性

もある。

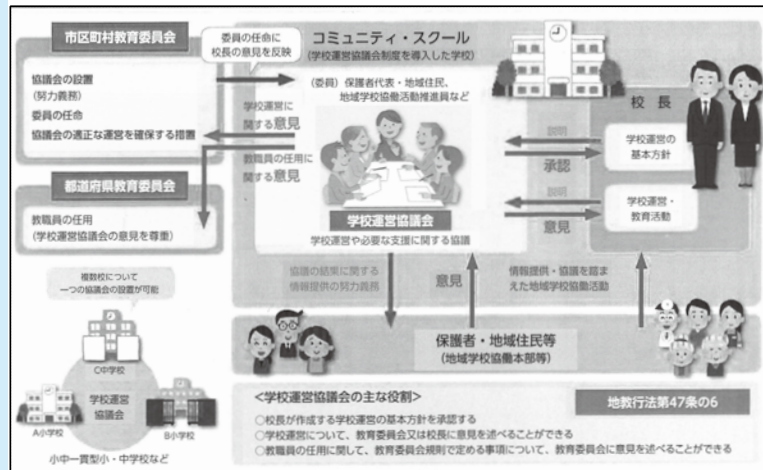
6年度は制度設計について研究をしたい。

中村議員

コミュニティスクールを開設することが目標ではない。開設して何をやるのかの議論が大切だ。

その他の質問

この他に、中村議員は縦割り行政の解消について羽須美支所地域振興係を例に提案しました。



コミュニティスクールの概要

かぎもとあき
鍵本亜紀 議員

給食費の無償化は

町長 議論が必要 財源はその次

鍵本議員
町外の方はホームページを見ると、邑智病院で子育てに備えた医療体制を整えていることや、地域

鍵本議員
町外の方はホームページを見ると、邑智病院で子育てに備えた医療体制を整えていることや、地域

田村地域みらい課長
小児科医と産婦人科医が常勤している医療体制の継続、町内に9つの保育所の運営支援。妊娠、出産、子育てについて、専門職員が対応する総合支援窓口の開設。小学校8校、中学校3校それぞれの存続。その他、60ほどの取組みがある。

鍵本議員
子育て日本一村としての取組みには、どんなものがあるか。



の保育園、学校を地域の方と支えてるといって、邑南町らしい取組みが載っていない。せつかくの取組みを紹介しないのもつたいないし、このご時世、経済的な支援でないと目に入っていない。

石橋町長
邑南町は子育て日本一を先駆けなのだから、よそに遅れをとることなく給食費の無償化をするべきだ。地域で子育て、町全体が大きな家族、それなら町が給食1食だけは子どもたちに無償で食べさせ、子どもたちと一緒に育てるといふ事をして欲しい。給食費の無償化を求める署名を集め、1100もの賛同をいただいたが、どう思うか。

鍵本議員
さまざまな意見を勘案し議会にも相談しながら慎重に進めていく必要がある。財源がないからしないではなく、さまざまな意見を聞く必要がある。

鍵本議員
昨春秋、町が共催の有機農業の研修会で、有機野菜



すくすく育つ有機農法の畑

を食べることでデトックスができることあり、2月には子どもたちのために、今私たちができることというテーマでイベントをしたのが、生きることは食べること。食、農業、環境、地域、情緒、それらはみんな繋がっており、アレルギーや発達障害の子どもたちの症状が有機の食事で改善していくとあった。

石橋町長
是非とも町内の子どもたちの給食に有機野菜を取り入れていただきたい。

鍵本議員
有機以外は駄目など言うつもりは毛頭ない。可能性があるのなら子どもたちには有機のものを食べさせたいという思いだ。私たち大人もみんな子どもだった。今がある恩返しを今の子どもたちにするべきだ。給食費の無償化は今後も訴えていく。

その他の質問

鍵本議員はこの他に、邑南町の20周年記念行事について、町民の気運をどうやって高めていくのか質問しました。

の だ よ し ふ み
野田佳文 議員

選挙ポスター掲示場を グーグルマップへ

課長 前向きに検討する

野田佳文議員

選挙ポスター掲示場の削減と貼りにくい場所の改善を。

秋田町民課長

選挙ポスター掲示場の削減については、選挙の都度、投票区、地勢、交通状況を考慮し、県選挙管理委員会と検討していきたい。また、貼りにくい場所について教えて頂ければ、場所の変更等を選挙管理委員会で検討する。

野田議員

グーグルマップを活用した選挙ポスター掲示場の情報共有化について提案する。

秋田町民課長

ノウハウを研究し、選挙管理委員会で前向きに検討する。

問 山城跡の

教育面での活用は

野田議員

山城跡の活用について、観光、史跡、教育面での町の考えを問う。

白須産業支援課長

山城跡への登山だけではなく、雲海や山頂での朝食、周辺の自然や歴史などさまざまなコンテンツと組み合わせることで、魅力ある体験観光プログラムとして活用が期待できる。

答 郷土愛の

熟成を図る

高瀬学びの町推進課長

史跡指定される遺跡は、埋蔵文化財の発掘調査だけではなく、公文書などの文献調査や地質や植生などの自然調査を行い、本質的価値を見出すための過程が必要となる。時間と経費がかかるが、計画的に進めていく必要がある。

教育面については、生涯学習の観点から、山城跡をはじめ、地元の資源の活用を進めることで、地域についての関心を高め、郷土愛の醸成を図る取組みを進めていきたい。

野田議員

関係人口創出について、島根関係人口マッチング・交流サイト『しまっち』の活用を。

白須産業支援課長

『しまっち』のポータルサイトやプログラムの内容の周知や積極的な活用について、

いて、ふるさと島根定住財団とともに、町の方も進めて行きたい。

その他の質問

野田議員の救急搬送時対応マニュアルなどの作成、

配布の提案に対し、総務課長から、国において救急搬送時のマイナンバーカードの利用について検討されており、検証の結果等を注視しつつ、救急搬送時のマニュアル作成、配布については、今後考えたい、と答弁がありました。

また、マイナンバーカードと保険証の一体化への

町の対応についての質問に対し、町民課長から、安心してマイナ保険証を活用できるよう町として取り組んでいく、と答弁がありました。

ニツ山城跡・本丸で紅葉のフレームから望む雲海



おおやみつひろ
大屋光宏 議員

邑南町教育の創造とは

教育長

信頼される学校づくりと 教育改革

大屋光宏議員



令和6年度教育方針は「邑南町教育の創造を考えたとき、今必要なことは、学校教育及び社会教育を通して、町民一人一人の自己肯定感・自己実現などの獲得的な要素と、人とのつながりや協動的な要素とのバランスを取り入れながら、調和と協調に基づくウェルビーイング（幸福感）を向上させることにある」で始まる。「創造」という言葉を使った意義は。

大屋教育長

変化の激しい今日の社会において、子どもたちが「心豊かにたくましく生き抜く

力」を育てることが教育委員会の責務である。そのため、学校は「知徳体」のバランスの取れた質の高い教育を提供し、安心して信頼して子どもを託す場でないならばならない。さらに教育現場の改革も必要となってきた。

具体的には、多様な学びへの対応、誰にとっても安心安全で信頼される学校づくり、そして地域との連携等々の教育改革が必要である思いから「邑南町教育の創造」とした。

大屋議員

日本の若者は「自分自身に満足している」「自分には長所があると感じている」という問いに対し否定的な回答が多く、自己肯定感が低いといわれている。子どもの自己肯定感を醸成するため学校教育、社会教育で重視することは。

高瀬学びのまち推進課長

自己肯定感の醸成は子ども自身の自信ややる気、確かな自衛、自我を育てるために必要である。学校では、「自

分を肯定的に認めること」「自分の存在意義」「自分の可能性」これらを感じられるような活動を大事にしている。

社会教育では、多世代交流など幅広い学びの機会の創出が必要と考える。特に

地域の一員として活動し認められる達成感は重要な要素である。

大屋議員

自己肯定感が高まる町は幸福感も高く住みやすい町であると思う。新年度予算のテーマの一つに「多様性が尊重され全ての人が力を発揮できる地域社会の実現」とある。個人の価値観など内面的な多様性に対応した予算はなにか。

石橋町長

特に防災面において女性の観点からの施策が不十分



子どもたちが盛り上げる「雲井の里」

である。男女共同参画、ジエnder平等をさらに進めていく必要がある。

その他の質問

大屋議員は、既存事業を止めなければ新規事業がでないほど経常収支比率が高い状況について質問しました。二上財務課長は今後、毎年度の起債額を引き下げの考えを示しました。石橋町長は、行財政改革の実施と投資のバランスが必要であると答弁しました。

たつたなおひさ

辰田直久 議員

新年度の重点施策は

課長

5つの大項目ごとに 重点施策を策定

辰田直久議員

新年度予算において次のテーマについての事業内容や手法と期待される効果を問う。

・物価高騰対策
・少子化、子ども対策の抜本的強化

・人材確保と町内産業の活力増進

三上財務課長

国の方針により低所得者等は各種の減税に関わる給付金事業費などにより自由に使えるお金が増え、地域全体の活性化が期待できる。また、不妊治療推進事業を充実させるとともに、出産前後の相談支援など、



将来が楽しみな福祉人材の卵たち

医療費の負担軽減等も行ない、子ども政策を充実させ

邑南町への転入や少子化の改善に繋げたい。

白須産業支援課長

女性が活躍できる環境を整え、地域おこし協力隊制度の活用も行ない、農林商工への若い世代の取組み支援によって、農業や観光を中心に地産地消や地域経済の循環を図り産業の活力を推進したい。

辰田議員

経済的な支援は事業者や町民に再度還元する手法ではないと意味がなく、本町独

自の対策も考

えるべきであ

る。人材確保

と産業の活力

増進には相関

性があり、そ

れが構築され

れば少なから

ず人口対策

にも繋がり、

各々の重点施

策を連携させ

ながら取り組

まなければ効

果は限られる。

問

福祉関連事業の課題と行政の役割は

辰田議員

医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自立した生活が確保されるための地域包括ケアシステムの進捗状況と今後は。

答

法人間の事業調整も検討する

小笠原医療福祉政策課長

2025年の構築をめざ

し、高齢者の生活支援や介

護予防など公民館単位の地

域での対応に取り組んでき

た。本年度は医療と介護の

連携を検討し、入退院連携

ガイドラインなど、関係機

関とともに同じ視点で地域

包括ケアシステムに取り組

めるよう努力する。

辰田議員

社会福祉協議会の活動は、他の福祉事業者とも事業における連携や分散も必要と思われるが、町の考えは。

小笠原医療福祉政策課長

今後は人材不足が大きな課題となるので、社協の持つネットワークも生かしながら、他の事業者や町も一緒に支援ができればと考えている。

その他の質問

この他に、辰田議員は広報全般のあり方について質問し、執行部は郵送を含めた全戸配布や意義ある広報のあり方に努力すると答え

邑南バス路線変更

令和6年4月より、町営バスの路線に瑞穂矢上線が正式に追加されます。

瑞穂矢上線は田所道の駅から出羽高原方面を經由し、邑南町役場までを平日3往復運行します。

沿線には、邑智病院 前眼科医院、三上医院、富永歯科医院、星が丘クリニッ

クと医療機関が多く、また、町内の代表的な商店もあり、町営バスの利用による通院や買物がより便利になります。

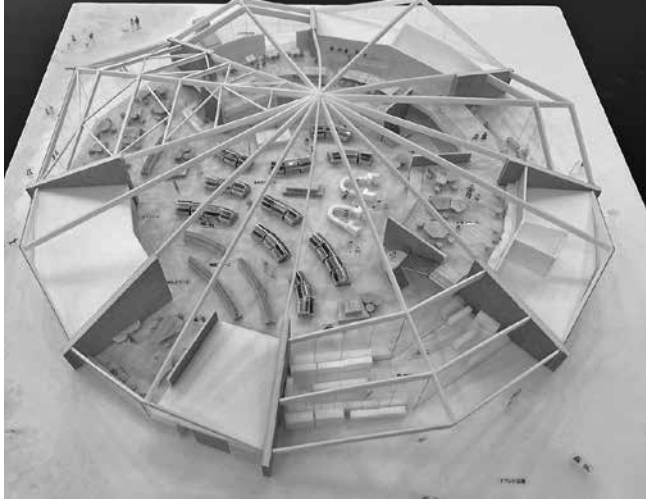
NPO法人はすみ振興会が運行するはすみデマンドの石見高原バス停への乗り入れも6年4月から可能となります。

道の駅 現状は

道の駅の新名称が、多数の応募の中から「道の駅 邑南の里」に決まりました。現在の状況ですが、敷地造成工事は令和5年度内に終了しました。

地中熱を活用した融雪設備工事は地中熱交換器の確保に時間がかかっており、年度内の工事費を6年度に繰り越しています。4月になり地中熱交換器が納入されれば、本格的にさく井、ボーリング工事を進めます。

変更後の完成模型



田中さん
よろしくお願いします



植田さん
お疲れさまでした

本体工事は、3月22日に入札が執行され、今回は応札がありました。その後、特別共同企業体が結成され、資格審査の申請ができました。4月8日の指名審査会の後、議会承認を経て契約となります。

いよいよ3度目の正直となるのが、楽しみです。

議会からは、資材は確実に確保できるのか。物価の高騰などで予算がオーバーすることはないかなど質問があり、今のところその心配はないと答弁がありました。

新しい事務局体制です

議会事務局職員の人事異動があり、植田靖子調整監が医療福祉政策課に異動し、水道課から田中利明調整監が着任します。

議会事務局に託された使命は、町民から負託を受けた議員で構成される議会活動をサポートすることです。邑南町議会が、邑南町民及び邑南町にとって最善の意志決定ができるよう、事務局職員一丸となって職務に取り組みます。今後ともよろしくお願いいたします。



4月からの議会事務局スタッフ

三階席

最近の定例会は緊張感が強い。以前からそうだったかと考えてみると、ずっとそうだったという記憶がない。ここ2〜3年の緊張感が特に強い記憶がある。定数を15人から13人に減らし、それまでの先輩議員が引退されて、精神的な緊張感もあったのかもしれない。

▼しかし、審議が充実し、議論が白熱しているのも事実である。今回の予算審議も2日間、目一杯の審議時間だった。それ以外にも各常任委員会や全員協議会での審議や質疑、討論と活発な議論が続く▼そうしてみると、邑南町議会も、今のメンバーになって3年が過ぎようとしている。3年前は新人議員と呼ばれていた4人も、審議の要点を掴んできている。なかなか頼もしい邑南町議会になってきたのかな。

(まよし)

ご意見をありがとうございます

寄せられたご意見を紹介します。

- ① 瑞穂ハイランドの事故検証委員会報告はないのか。
- ② 新しい道の駅の設計見直しには費用も必要。誰が責任をとるのか。
- ③ 元気館トレーニングルームや公民館を町外者が利用すると、2倍の使用料が必要となる。町内利用者と同額にならないか。

④ 子ども医療費の満18歳までの助成について。

- ・ 高校生は、部活でケガをすることが多いので経済的に安心。
- ・ 将来、邑南町に帰ってもいいかな。
- ・ 大した病気やケガでなくても、病院へ行く子どもが増えるのでは？

貴重なご意見をありがとうございます。ご返答が必要なお意見につきましては、執行部と相談の上対応してまいります。

新副町長 選任に同意

8年間にわたり副町長を務められた日高輝和氏が、5年度3月31日に任期満了となるのを受け、現産業支援課長の白須寿氏が次期副町長に選任されました。

日高副町長、大変お疲れ様でした。白須新副町長、これからよろしくお願います。



新副町長 白須寿氏

議会の傍聴にお越しく下さい

6月定例会は、6月3日からの開催を予定しています。一般質問だけでなく、全員協議会などすべての議事が傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先
議会事務局
TEL：0855-95-1113
I P：050-5207-3021

紙面を読みやすくしました

議会広報公聴常任委員会では、少しでも読みやすい広報誌をめざしています。今回は文字と行間を少し大きくし、段組みを6段から5段に変更しました。



以前のページ割付け



新しいページ割付け

ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

議会広報公聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中村 昌史 |
| 副委員長 | 日高八重美 |
| 委員 | 和田 文雄 |
| | 野田 佳文 |
| | 鍵本 亜紀 |
| | 奈須 正宜 |



このQRコードから
このページへ
ご意見をお寄せ
られます

フラモデル作りで移住

あなたの
声

邑南町でテレワーク

高原地区 佐々木 敏影 さん



横浜から移住された佐々木敏影さん

横浜から高原地区に移住した佐々木さんにお話を聞きました。

Q 邑南町に移住したきっかけを教えてください。

本業のデザインに一区切りをつけ、フラモデル製作に専念できる環境を探していて、邑南町を知り移住を決めました。

Q 邑南町に移住を決めた理由は？

広いスペースが都会では見つからず、複数の模型製作や原型製作などに邑南町は最適でした。

Q 邑南町に住んでみて良かったと思うことは？

自身のペースで模型製作ができることで、時間の経過が変わりました。のんびりと過ごしています。

Q フラモデルを作る以外にどのような生活をされていますか？

ウェブサイトを、動画、チラシ、看板などデザインにまつわることは何でも制作します。町内では三滝観音の看板もデザインしました。

Q テレワークで仕事を始めて気づいたことはありますか？

テレワークであっても直接顔を合わす必要性があると思いました。

Q 今後、どのような活動をして行きたいですか？

デザインを志している方への相談や引きこもっている人々を外に出すような活動をしていきたいと思えます。また、行政と民間をつなぐ、外部機関も作りたと思っています。

今回の取材を通じて移住にはさまざまな形があると思えました。テレワークによる地方移住の一例として発信したいと思えました。

(聞き手 野田佳文)



佐々木さんがデザインした看板

編集室の窓



議会だより79号以来、2年ぶり2回目の「編集室の窓」の担当になりました。何を書こうかと思いついた。3年間の広報誌最終ページを読み返してみました。担当者のその時々感じたことが綴られていてほっこりします。▼これまでの記事の中に、「読みやすい広報づくり」について何度か登場します。毎年行われる広報研修会には全員で参加し、感じたことを委員会で共有しています。めざすは「読む広報誌」から「見る広報誌」へ！今後も工夫をしていきたいと思えます。▼みなさん、今号の印象はいかがでしたか。大きな変化ではありませんが、文字が少し大きくなりましたよ！前号と比べてみてください。

(口高八重美 記)